

公立学校施設整備費

平成29年度予算(案)額 69,013,435千円
 平成28年度第2次補正予算額 140,717,756千円

◆内容

・学校施設は児童生徒の学習・生活の場であり、より良い教育活動を行うためには、その安全性・機能性の確保は不可欠である。このため、経年劣化により安全性・機能性に支障のある老朽施設を改善するなど、教育環境の改善を推進するとともに、耐震化及び防災機能強化に取り組む。

◆山村地域における補助率

- ・小中学校施設の改築
 事業概要：公立小中学校の校舎・屋内運動場の改築に要する経費の一部を国庫補助
 算定割合：通常 1/3 → 山村振興地域 5.5/10



へき地児童生徒援助費等補助金

平成29年度予算(案)額 2,186,085千円

◆内容

・交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれない山間地、離島等に所在する公立学校（へき地学校等）の教育の振興を図るため、へき地教育振興法等に基づいて所要の措置を講じる。

◆補助対象経費

- ①スクールバス・ボート等購入費 ②遠距離通学費
 ③寄宿舍居住費 ④高度へき地修学旅行費 ⑤保健管理費

◆補助率

・原則 1/2



健全育成のための体験活動推進事業

平成29年度予算(案)額 98,600千円

◆内容

・農山漁村等における体験活動において、地域人材や地域資源を活用することにより、異世代間交流や都市農村交流を図り、地域の活性化につなげる。

- 宿泊体験活動を行う学校等における取組への補助
 - ・小学校、中学校、高等学校等における取組
 - ・教育委員会が主催する農山漁村体験活動導入の取組 等
- 体験活動を推進していく上での課題や成果について協議を行ったり、好事例の収集、各学校への情報提供や取組の普及を図るために開催する協議会への補助

- ・補助事業者 都道府県・市区町村
- ・補助率 1/3

青少年の体験活動の推進

平成29年度予算(案)額 37,126千円

◆体験活動推進プロジェクト

・青少年の山村等での体験活動を推進するため、全国的な普及啓発事業、青少年の体験活動推進に関する調査研究、企業の取組を推進する教育CSRシンポジウム等を支援することにより青少年の体験活動の機会の充実と普及啓発を図る。

◆子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業

・家庭、学校、青少年団体、NPO等をネットワーク化し、情報共有や事業の共同実施等するための「地域プラットフォーム」を設置し、持続可能な体験活動推進のしくみをつくる。